

JA岡山県で公認審判員講習会 女性組織部会の30人が参加

J A岡山県女性組織部会お手玉公認審判員養成講習が、9月2日(月)、岡山市のJ A教育研修センターで行なわれ、30人が参加しました。日本のお手玉の会からは、武田信之理事と増原勝将元理事が講師を務めました。

講習会では、いま、なぜ「お手玉遊びなのか」を話し、お手玉遊びの規則についての解説や競技の説明、審判の任務について解説しました。その後、参加者は、お互いに選手と審判を交代に演じながら模擬競技を行い、審判旗の扱い方や、審判の役割、判定の方法などを体験しました。

和気あいあいの雰囲気の中で講習会を行い、全員が審査に合格し「公認審判員認定証」を授与しました。



個人戦・団体戦競技審判のやり方を選手と審判員にわかかれ、全員がすべてをマスターしました。

大丸心齋橋の「むかしなつかしあそび大会」に参加！

和歌山のお手玉の会のみなさんが出演。

大丸心齋橋の夏のイベント「むかしなつかしあそび大会」に、8月25日(日)、和歌山のお手玉の会の森勝代会長(本部理事)ら4人の会員が出演して、1日、お客様にお手玉遊びを楽しんでいただきました。店内に設けられた「遊びのブース」には、子どもさんから若者、ご年配の方々まで、たくさんの方が参加しました。

和歌山のみなさんは、お手玉の妙技を披露したり、お手玉遊びを指導したり、お手玉を使ったゲームを紹介したり、お客さまと楽しい一日を過ごしました。

「子どものころは上手だったのよ」という年配の女性が両手3個ゆりをやってくれたり、「私お手玉ができるんです」という女店員さんが、片手2個ゆりに挑戦して見せてくれたりしました。

お手玉は初めてという子どもさんも、お手玉を使ったゲームに笑顔で参加してくれました。

森会長は「お手玉をすると脳を刺激して、脳の活性化になるんですよ。みなさんでお手玉を楽しんでください」と、お手玉の魅力を紹介しました。

この企画は、当初、大丸松坂屋の札幌から神戸までの7つの店舗で、けん玉、コマ回し、お手玉など、むかしなつかしい遊びが集まって、8月中旬に18日間行われることになっていました。

日本のお手玉の会の各支部に、それぞれ協力をお願いしていましたが、先方の都合で計画が縮小され、お手玉の出演は8月25日の1日のみとなりました。予定をしていたいただいていた支部のみなさん、ほんとうに申し訳ありませんでした。今後とも、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

